

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	王朝物語の精神史		
英文授業科目名	The Spiritual History of Heian-Monogatari		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>平安時代に書かれた『源氏物語』。今年、2008年は、この『源氏物語』が書かれてからちょうど1000年目の記念すべき年である。</p> <p>『源氏物語』は、鎌倉時代・室町時代・江戸時代・明治時代の日本文化の創造に対して、大きな役割を果たし続けてきた。</p> <p>その生命力の秘密は、どこにあるのだろうか。</p> <p>日本を代表する文化人たちは、皆、『源氏物語』を深く学び、戦い、乗り越えて、自分自身の「現在=近代」を発見したのだった。</p> <p>ところが大正時代以降は、「現代語訳」の発明によって、「古典」は永遠に古典となってしまう、現代人から遠のいてしまった。その果てに、漫画本の安易な大流行がある。</p> <p>学生諸君には、「生きた古典」としての『源氏物語』の不滅の価値と、それを生かし続ける努力の必要性とを、是非ともわかってもらいたい。</p> <p>それは、文科系の間だけの問題ではない。科学の古典を現代人がどう読むべきかに関しても、諸君は考えるヒントを獲得できるだろう。</p>
---

<p><b>【前もって履修しておくべき科目】</b></p> <p>特に、なし。</p>
--

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

特に、なし。  
ただし、「文学A」「文学B」を受講しておけば、より楽しく、より深く、学習できるに違いない。

### 【教科書等】

教科書は、使用しない。プリントを配布する。

### 【授業内容とその進め方】

次のような講義内容を、計画している。いずれも、『源氏物語』と深く関わり、この物語の生命力を1000年後の今日まで継承させてくれた大恩人である。

- ・紫式部 ~ この物語を作った人
- ・藤原定家 ~ この物語の信頼すべき本文を校訂した人
- ・四辻善成 ~ この物語のモデルを突き止めた人
- ・一条兼良 ~ この物語の文章の「文脈」を読み解いた人
- ・宗祇 ~ この物語によって、理想の政治のあり方を論じた人
- ・三条西実隆 ~ この物語を鑑賞する際のポイントを説いた人
- ・細川幽齋 ~ この物語の楽しさを発見した人
- ・北村季吟 ~ この物語を「原文」でも読める画期的方法を発見した人
- ・本居宣長 ~ この物語の主題を発見した人
- ・アーサー・ウェイリー ~ この物語を美しい英語に移し替えてくれた人
- ・わたしたち ~ この物語を現代において新生させる意欲を持った人

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義内容を受け止めたかどうかを、学期末の論述式試験で計測する。この試験の成績を最重視する。  
ただし、学期途中に小レポートを課す。この小レポートを未提出であれば、試験の成績からワンランク下げる。また、時々、出席を取る。

小レポートの課題は、『源氏物語』に関する文章を読んだ感想である。詳しくは、講義で説明する。

講義内容を理解しているかどうか、批判的に考えながら受講できたか、自分自身の見解を試験答案に盛り込めたか、それらを勘案して最終成績を決定する。古文の品詞分解とか、現代語に訳せとか、そういう低レベルの試験問題は出さない。文化の本質と、その理解について、問う設問にする。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

四年生の出席率が、非常に悪い。就職関係でほとんど出席せずに（出席できずに）試験だけ受ける学生が例年多いが、まず単位取得は不可能に近い。そういう「行き当たりばったり」の態度を改めるためにも、日本文化のエッセンスに触れて欲しい。

### 【その他】